



青 松

大仙市立角間川小学校

令和7年4月24日

学校報 第5号

創立150周年 「ま・え・む・き」角小

1年生を迎える会



4月21日(月)、1年生を迎える会が行われました。この会の企画・運営は6年生。最上級生としていろいろな行事で先頭となって大役を務め、また先週の全国学力・学習状況調査にも全力で臨んだ6年生は、この会に向けても同時進行で頑張ってくれました。2年生は「歓迎の言葉」、3年生は「飾り付け」、4年生は「花のアーチ」、5年生は「学年名の掲示」など、全校で役割を分担しながら準備しました。2年生の「歓迎の言葉」では、小学校での勉強や楽しみなことを教えたり、鍵盤ハーモニカでの演奏、木刀振りをしてくれました。また、角間川小学校恒例の「ゆめをかなえてドラえもん」の歌やダンスも楽しく微笑ましいものでした。(お家の方々にもいつか披露できればと思います。)

続いてのゲームでは、なかよしグループ(縦割りグループ)の顔合わせの「あいさつゲーム」をした後、「フラフープくぐり」や「なべなべ底抜け」などのゲームを行いました。グループで手をつないで協力して行うゲームで、始めは緊張していた1年生もあっという間に打ち解け、みんな笑顔になっていました。また、最後には全校で一

の輪になって「なべなべ底抜け」を行い、見事大成功!みんなで喜びました。

この日から早速、なかよしグループでの掃除をしています。1年生も雑巾の絞り方や拭き方などを上級生に教えてもらったり手伝ってもらったりしながら張り切って頑張っています。

角間川小学校の子どもたちの自慢の一つに「学年を超えた仲のよさ」があります。上級生が下級生のことを思いやりながら一緒に活動するなかよしグループの活動もそのよさの大きな要因の一つです。上級生は下級生に気を配りながら活動し、低学年の子どもたちは自分たちが優しくしてもらったことを忘れず、学年が上がると同じように下級生に優しく接する、その温かい思いやりの連鎖がしっかりとでき、温かい心が引き継がれています。とっても嬉しいことです。この後の集会や行事でもなかよしグループでの活動がたくさんあります。「笑顔の角小」「結ぶ角小」がますます広がることを楽しみにしています。



ちょっぴり緊張気味の1年生



6年生と手をつないで入場



司会の6年生



2年生「歓迎の言葉」



あいさつゲーム



フラフープくぐりゲーム



なべなべそこぬけゲーム



感想発表

